

平成 30 年度 演奏学科コース別 一般入試実技等課題

※センター試験利用入試、一般入試、実技特別選抜入試

●作曲コース

クラシックスタイル専修

I. 専門実技：次の①、②のいずれか1つを選択する。

①任意の形式による自作の器楽曲または声楽曲1曲を自筆楽譜として願書に添えて提出する（曲の規模は問わない。声楽曲の歌詞は日本語に限る）。提出された作品を中心に簡単な口述試験を行う（提出物の返却はしない）。

②試験当日与えられたバスまたはソプラノの声部により4声体の和声を作る（90分）。

※答案作成にあたって楽器は使用しない。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律・複旋律・四声体和声

IV. 副科ピアノ：下記の①、②、③のいずれか1つを選択する（暗譜のこと）。

①J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より任意のフーガ1曲。

②J.S. バッハ：インヴェンションとシンフォニアより任意の1曲。

③ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのいずれかのソナタの第1楽章（ただし第1楽章が緩徐楽章のものは除く）。

コンピュータスタイル専修

I. 専門実技：下記の①、および②を課す。

①自分で作曲または編曲した作品の楽譜か録音物、あるいはシーケンスデータ（MIDI ファイル）を願書とともに提出する。編曲の場合には参考にした楽譜を添付すること（提出作品の返却はしない）。

②口述試問：提出された作品に関する簡単な試問を行う。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

●声楽・オペラコース

I. 専門実技：歌曲あるいはアリアより任意の2曲を演奏する（8分以内）。

※伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。

※ピアノ伴奏は大学側で担当する。

●ミュージカルコース

I. ヴォーカル：任意の1曲を演奏する（3分程度。曲のジャンルは問わない）。

※ピアノ伴奏は大学側で担当する。伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。

II. 以下の①②③から1つ選択する。

①朗読：任意の詩または台詞を朗読する（1分程度）。

※暗記の必要はない。

※朗読原稿に氏名を記入の上、出願時に提出すること。

②ダンス：内容は自由（2分程度）。

※動きやすい服装で受験すること。

③演技：当日出題された課題を演じる。

●器楽コース

ピアノ専修

- I. 専門実技：下記の①～③を演奏する（暗譜のこと）。当日、時間の都合により一部省略させることがある。
 - ①以下のA、Bから1つ選択する。
 - A. J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集より1曲。
 - B. 下記の作曲家の練習曲集より1曲。
ショパン、シューマン、リスト、ドビュッシー、ラフマニノフ、
スクリャービン、プロコフィエフ、バルトーク
 - ②ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタより任意の1つの楽章。ただし、緩徐楽章を除く。
 - ③自由曲
 - ※複数の作曲家の作品を組み合わせてもよい。
 - ※くり返しはなし。ただし、D.C.、D.S.、8小節以内の短いきり返しを除く。
 - ※出版されている作品に限る。
 - ※ソナタの楽章抜粋、小品集、組曲からの抜粋は認める。変奏曲からの抜粋は認めない。
- II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。
- III. 聴音：単旋律・複旋律・四声体和声

パイプオルガン専修

- I. 専門実技：下記の①、②のいずれか1つを選択し、演奏する。
 - ①パイプオルガンでの受験
 - A. J.S.バッハのオルガン曲（足鍵盤付き）より1曲（暗譜の必要はない）。
 - B. J.S.バッハ：オルガン小曲集 BWV599～644より2曲（暗譜の必要はない）。
 - C. J.S.バッハ以外のオルガン曲（足鍵盤付き）より1曲（暗譜の必要はない）。
 - ※レジストラントについては同伴、または大学側で担当する。
 - ※レジストレーションの時間を事前に与える。
 - ②ピアノでの受験
 - A. J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より任意のプレリュードとフーガを暗譜で演奏する。
 - B. ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのいずれかのソナタを暗譜で演奏する。
- II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。
- III. 聴音：単旋律・複旋律・四声体和声
- IV. 副科ピアノ：任意の一曲（ただし②ピアノでの受験をする場合には、A、Bとの曲目重複は不可）。

電子オルガン専修

- I. 専門実技：下記の①～③を演奏する（暗譜の必要はない）。
 - ①エレクトーン・クラシック曲集 グレード5級、または4・3級（YAMAHA MUSIC FOUNDATION）より任意の1曲を演奏する。
 - ②グレード5～3級表示の独奏曲（出版社は問わない）あるいは自編・自作による独奏曲1曲。
 - ※自編曲・自作曲については、試験当日に楽譜を提示のこと。
 - ③初見演奏（含メロディ変奏）。

弦楽器専修・ヴァイオリン

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階・分散和音：カール・フレッシュ (Carl Flesch) スケールシステムより、任意の調を選び、第5番の冒頭より12小節を演奏する。スラーとリズムはC-durに準ずる。フィンガリングは問わない。

参考譜例



②課題曲 1: 任意のエチュード、またはキャプリスより任意の1曲。

③課題曲 2: 任意のヴァイオリン協奏曲より任意の楽章（伴奏なし）。

※ヴァイオリンでの受験でヴィオラを併願することができる。その場合は、入学願書の第2志望欄の楽器名にヴィオラと記入すること。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

弦楽器専修・ヴィオラ

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階・分散和音：カール・フレッシュ (Carl Flesch) スケールシステムより、任意の調を選び、第5番の冒頭より12小節を演奏する。但しアルペジオはその限りではなく、2オクターブ以上とする。リズムはC-durに準じ、スラーは6音以上を一弓とする。フィンガリングは問わない。

参考譜例



②課題曲 1：任意のエチュード、またはキャプリスより任意の1曲。

③課題曲 2：任意のヴィオラ協奏曲より任意の楽章（伴奏なし）。

※ヴァイオリンでの受験も可。課題曲はヴァイオリンと同じである。その場合は、入学願書の志望コース、楽器名にヴィオラと書き、その下にヴァイオリンで受験と記入すること。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

弦楽器専修・チェロ

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：任意の調で3オクターブ以上。スラーは4音を一弓とする。

参考譜例



②課題曲1：ドッツァウアー :113のエチュード、ポッパー :40のエチュード Op.73、またはデュポール :21のエチュードの中より任意の1曲。

③課題曲2：任意のチェロ協奏曲またはチェロソナタより任意の楽章（伴奏なし）。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

弦楽器専修・コントラバス

I. 専門実技：下記の①を演奏する。

①課題曲：任意のソナタ、協奏曲、コントラバスオリジナル曲より1曲。練習曲も可。ただし、多楽章形式の場合は任意の楽章（伴奏なし）。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

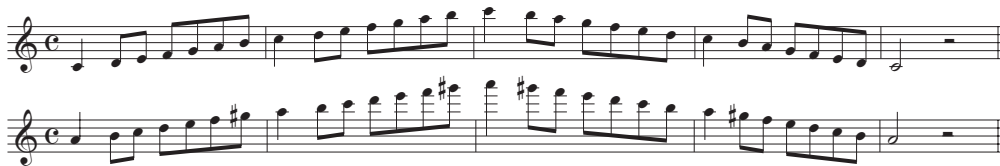
IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

管打楽器専修・フルート

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：長調、短調（和声的短音階）をタンギングで2オクターブ。全24調から当日指定する。

参考譜例



②課題曲1：下記の練習曲集より任意の1曲（出版社は問わない）。

A. C. J. Andersen: 24 Etudes for Flute Op. 21

B. Fürstenau: Bouquet des tons Op. 125

③課題曲2：C. A. Debussy : Syrinx を演奏する。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

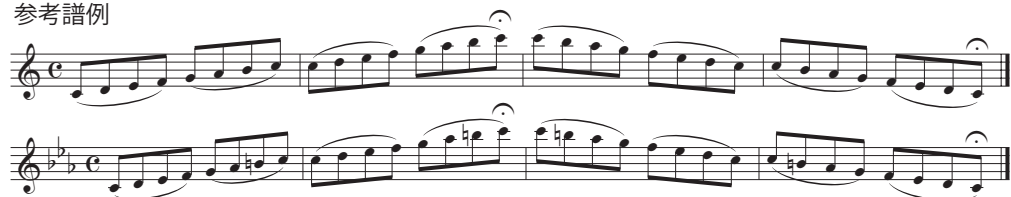
IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

管打楽器専修・オーボエ

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：シャープ、フラット3つまでの長調、短調（和声的短音階）から当日指定する。なお、ト長調、イ長調、イ短調、ト短調、嬰へ短調に関しては1オクターブで良い。

参考譜例



②課題曲1：Ferling: 48 Etudes No.5, 7, 9, 11, 13 より任意の1曲。

③課題曲2：Ludwig Wiedemann: 45 Etüden für Oboe より第9番

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

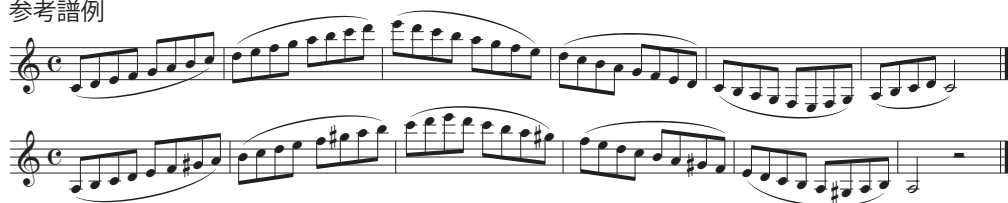
管打楽器専修・クラリネット（バスクラリネット含む）

※クラリネットが基本であるが、バスクラリネットでも受験可能である。ただし入学後はクラリネットを中心にレッスンを行う。

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：長調、短調（和声的短音階、旋律的短音階のどちらでも良い）の全24調から当日指定する。

参考譜例



②課題曲1：C. Rose: 32 Etudes（出版社は問わない）より、奇数番号の任意の1曲。

③課題曲2：下記のA～Cより、任意の1曲を演奏する。

A. C. M. v. Weber: Concertino Op.26（出版社は問わない）。

B. C. M. v. Weber: Konzert für Klarinette und Orchester Nr.1 f-moll Op.73

（出版社とカデンツァの有無は問わない）より第1楽章。

C. C. Rose: 32 Etudes（出版社は問わない）より、偶数番号の任意の1曲。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

管打楽器専修・ファゴット

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：シャープ、フラット3つまでの長調、短調（和声的短音階）から当日指定する。

参考譜例



②課題曲1：J. Weissenborn: Fagott-Studien Op.8 II 巻 No.4, 6, 8, 13 より当日指定する。

③課題曲2：J. Weissenborn: Fagott-Studien Op.8 II 巻 No.15

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

管打楽器専修・サクソフォン(ソプラノ・アルト・テナー・バリトン共通)

※アルト・サクソフォンが基本であるが、ソプラノ、テナー、バリトン・サクソフォンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし入学後はアルト・サクソフォンを中心にレッスンを行う。

※音階と課題曲1は上記の楽器すべてに共通。

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：長調、短調（和声的短音階）の全24調から当日指定する。

参考譜例



②課題曲1：Marcel Mule: Quarante-Huit Études, d'après Ferling (A. Leduc 版) No.1~30より奇数番号、偶数番号を各1曲ずつ（計2曲）。

③課題曲2（アルト・サクソフォンで受験）：A. Glazounov: Concerto (A. Leduc 版)より、パート譜の冒頭から練習番号16の前まで。
課題曲2（それ以外の楽器で受験）：任意の楽曲1曲。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

管打楽器専修・ホルン

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：長調、短調（和声的短音階）の全24調から当日指定する。

参考譜例



②課題曲1：Maxime Alphonse : Deux cents Études Nouvelles 第2巻 Études Faciles(A.Leduc 版)、No.1~30より任意の1曲。

③課題曲2：下記のA、Bより、任意の1曲を演奏する。

A. W. A. Mozart: Konzert für Horn und Orchester Nr. 1 D-dur KV412/514より第1楽章

B. W. A. Mozart: Konzert für Horn und Orchester Nr. 3 Es-dur KV447より第1楽章

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

管打楽器専修・トランペット

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階：記譜上イ長調、ト長調、変口長調、イ短調、ト短調から当日指定する。短調は旋律的短音階。

参考譜例



②課題曲 1：Kopprasch 60 Etudes for Trumpet(全音楽譜出版社)より No.3

③課題曲 2：下記のA～Cより、任意の1曲を演奏する。

A. アーバン 12の幻想曲とアリア(全音楽譜出版社)より

No. 3 Fantaisie Brillante より Theme, Variation I, Variation II

B. アーバン 12の幻想曲とアリア(全音楽譜出版社)より

No. 5 Variations on a song(The beautiful snow)より Theme, Variation I, Variation II

C. アーバン 12の幻想曲とアリア(全音楽譜出版社)より

No. 11 Fantaisie and Variations on "The Carnival of Venice" より Introduction, Theme

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない(30分)。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する(暗譜の必要はない)。

管打楽器専修・トロンボーン(バストロンボーン含む)

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階・分散和音：実音シャープ、フラット3つまでの長調、短調(和声的短音階)から当日指定する。

参考譜例



②課題曲 1：C. Kopprasch: Sixty studies for Trombone(zen-on版) No. 3, 4, 5, 8, 12より当日指定する。

③課題曲 2：J. Rochut: Melodious Etudes(Carl Fischer版) Book I No. 2, 3, 4より任意の1曲。

なお、バストロンボーンで受験する場合は、1オクターブ低く演奏しても構わない。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない(30分)。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する(暗譜の必要はない)。

管打楽器専修・ユーフォニアム

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階・分散和音：実音へ長調、嬰へ長調、ト長調、変イ長調、イ長調、変口長調より当日指定する。

参考譜例



②課題曲 1：J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone Book I(Carl Fischer)より No. 2~6の中から任意の1曲。

③課題曲 2：アーバン 14の性格的練習曲(全音楽譜出版社)より No. 1。

(へ音記号を使用する場合は、Arban: Method for Tromboneより Characteristic Studies, No. 1)

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない(30分)。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の1曲、または1つの楽章を演奏する(暗譜の必要はない)。

管打楽器専修・チューバ

I. 専門実技：下記の①～③を演奏する。

①音階・分散和音：実音へ長調、変口長調のいずれかを当日指定する。

参考譜例



②課題曲 1：M. Bordogni: 43 Bel Canto Studies for Tuba(Robert King Music Company) より、練習番号 1, 2, 3 の中から任意の 1 曲。

③課題曲 2：C. Kopprasch: 60 Selected Studies No.3, 4, 5 から任意の 1 曲。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30 分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の 1 曲、または 1 つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

管打楽器専修・打楽器

I. 専門実技：次の①、②のいずれか 1 つを選択する。

①小太鼓での受験

以下の A～C を演奏する。

A. 基礎奏法：1 つ打、2 つ打、ロール奏法。

B. 課題曲 1：M. Goldenberg: Modern School for Snare Drum P. 24, 25 より当日指定する。

C. 課題曲 2：Anthony J. Cirone: Portraits in Rhythm No.3。

②マリンバでの受験

以下の A～C を演奏する。

A. 音階・分散和音：シャープ・フラット 3 つまでの長調から当日指定する。

参考譜例



B. 課題曲 1：M. Goldenberg: Modern School for Xylophone Marimba Vibraphone V, VI より当日指定する。

C. 課題曲 2：任意の 1 曲（2, 3 分程度）。練習曲も可。なお、使用する楽譜を試験の際に持参すること。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30 分）。

III. 聴音：単旋律

IV. 副科ピアノ：任意の 1 曲、または 1 つの楽章を演奏する（暗譜の必要はない）。

平成 30 年度 音楽総合学科コース別 一般入試実技等課題

※センター試験利用入試、一般入試、実技特別選抜入試

●音楽教員養成コース

課題Ⅰ. 歌唱：下記の曲の中から1曲を選び、指定された調で演奏する（ピアノ伴奏は大学側で担当する）。

《赤とんぼ》（三木露風作詞、山田耕筰作曲） 変ホ長調 2番まで

《夏の思い出》（江間章子作詞、中田喜直作曲） 二長調または変ホ長調 1番のみ

《荒城の月》（土井晩翠作詞、滝廉太郎作曲、山田耕筰編曲） 口短調またはハ短調 1番のみ

課題Ⅱ. 器楽：下記のAまたはBのいずれかを選択する。

A. 任意のピアノ曲1曲を演奏する。

B. ピアノ以外の楽器で、任意の1曲を無伴奏で演奏し、さらに簡易なピアノ曲1曲を演奏する。

※暗譜の必要はない。

※場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。

※原則として楽器は、演奏学科器楽コースに開設されている楽器とする。

※Bの楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に音楽学部
事務室 TEL.047-365-1111（代表）に問い合わせること。

※実技特別選抜入試については、入試要項 P.27 参照。

●音楽療法コース

課題Ⅰ. 歌唱：下記の曲の中から1曲を選び、指定された調で演奏する（ピアノ伴奏は大学側で担当する）。

《赤とんぼ》（三木露風作詞、山田耕筰作曲） 変ホ長調 2番まで

《夏の思い出》（江間章子作詞、中田喜直作曲） 二長調または変ホ長調 1番のみ

《荒城の月》（土井晩翠作詞、滝廉太郎作曲、山田耕筰編曲） 口短調またはハ短調 1番のみ

課題Ⅱ. 器楽：下記のAまたはBのいずれかを選択する。

A. 任意のピアノ曲1曲を演奏する。

B. ピアノ以外の楽器で、任意の1曲を無伴奏で演奏する。

※暗譜の必要はない。

※場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。

※原則として楽器は、演奏学科器楽コースに開設されている楽器とする。

※Bの楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に音楽学部
事務室 TEL.047-365-1111（代表）に問い合わせること。

課題Ⅲ. 小論文：当日指定する課題により、1000字程度の小論文を書く（45分）。

課題Ⅳ. 口述試験：小論文に関する口述試験を行う（10分）。

●音楽指導コース

以下の課題Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから、2つの課題を選択する。

課題Ⅰ. 歌唱：下記の曲の中から1曲を選び、指定された調で演奏する（ピアノ伴奏は大学側で担当する）。

《赤とんぼ》（三木露風作詞、山田耕筰作曲） 変ホ長調 2番まで

《夏の思い出》（江間章子作詞、中田喜直作曲） 二長調または変ホ長調 1番のみ

《荒城の月》（土井晩翠作詞、滝廉太郎作曲、山田耕筰編曲） 口短調またはハ短調 1番のみ

課題Ⅱ. 器楽：任意の器楽曲（練習曲を含む）1曲を無伴奏で演奏する。

※暗譜の必要はない。

※場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。

※原則として楽器は、演奏学科器楽コースに開設されている楽器とする。

※楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に音楽学部
事務室 TEL.047-365-1111（代表）に問い合わせること。

課題Ⅲ. 小論文：当日指定する課題により、800字以内の小論文を書く（60分）。

※実技特別選抜入試については、入試要項 P.27 参照。